

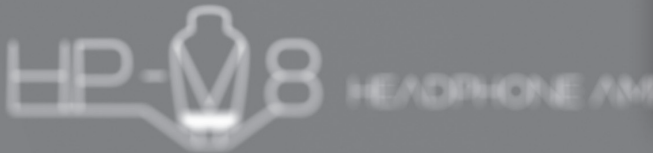


真空管ヘッドホンアンプ

HP-V8

8289701001
(607853)

取扱説明書



PHONES
BALANCE



OUTPUT SELECTOR



はじめに

フォステクス製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は、本機の基本的な使いかたについて説明しています。
本機を使い始めるときにお読みください。

本機は直熱三極管（300B）を使用し、フォステクスの技術を結集した、フラッグシップヘッドホンアンプです。
出力端子（LINE OUT）を持つ再生機器の音声を増幅し、ヘッドホンに出力します。

本機の特長

- KT88 を使用した独自の電源システム Stabilized Tube-controlled Power Circuit（ST-PC）により残留ノイズを大幅に低減し、S/N 比 115 dB を実現。
- 電圧増幅管には E88CC、出力管は 300B を使用。
- 電源部は Bando Electronics 社製トロイダル電源トランス、ヒータートランス、チョークトランスを採用。
- 出力トランスには橋本電気株式会社製のバランス、アンバランス出力対応カスタムアウトプットトランスを搭載。
- ベースプレートには重量 2 kg のアルミ板を使用。出力管との間にテフロンと OFC（Oxygen-free Copper）プレートを使用し振動ノイズを徹底的に排除。
- 音量の左右誤差を最小限にするため、高級オーディオ用電子ボリュームを採用。
- 新規開発したカスタム電解コンデンサー、カスタムフィルムコンデンサーを搭載。
- フルテック社製 AC インレット搭載。
- 三菱電線工業株式会社製 D.U.C.C を使用した電源ケーブルを採用。

付属品について

本機には以下の付属品が同梱されています。お買い上げ後、付属品が揃っていることを確認してください。



電源コード（1.5 m）× 1
取扱説明書（本書）× 1
保証書 × 1

ご注意

- 本機に付属の電源ケーブルは 3 接点となっています。
保護接地接続端子付の主電源コンセントへの接続を確実に行ってください。
- 本機を主電源コンセントから容易にプラグを抜くことができる場所に設置してください。
- 本機は電源スイッチを OFF にしても電源から完全に分離しません。本機を電源から分離するには、主電源コンセントからプラグを抜いてください。
- スマートホンなど電波を送受信する機器の近くで使用する場合には、機種によって電波干渉により本機がノイズをひろう可能性があります。機内モードなど電波の送受信を遮断するモードに切り替えることでノイズが解消することもあります。
- 本機は高熱の発生する真空管を使用しています。ご使用に際しては火傷などしないよう十分注意してください。
本機内部には高電圧を使用しています。カバーを外しての使用はお止めください。
側面・背面は壁などから 30 cm 以上、上面は 1 m 以上離して設置してください。
本機の動作時は布などで覆わないようにしてください。
- 真空管の特性上、電源ノイズなど周辺の電気機器の影響をうける可能性があります。
- 真空管の特性上、振動がノイズとなって聞こえる場合があります。振動の少ない場所でご使用ください。また、インピーダンス切り替えやヘッドホンジャックの抜き差しなどで本体に振動が伝わり異音が出ることがあります。また直熱三極管の特性上、周辺温度との関係でフィラメントの温度が安定するまで振動音が出ますが、これらは正常な動作です。
- 真空管は消耗品です。定期的なメンテナンスが必要となります。ほこりのたまるような環境では使用しないでください。内部にほこりがたまったまま長期間掃除をせずに使用を続けると、火災や故障の原因となることがあります。3 年に一度は内部の掃除を販売店などにご相談ください。本機に使用の真空管の保証期間はご購入日時から 6 ヶ月です。設置後、引越などで再度移動するときは、取り扱いについて認定店にご相談ください。
- 本機は、最大出力 2 000 mW（16 Ω時）と高出力です。ヘッドホンの差し替え時は必ず音量を絞ってください。特に DIRECT INPUT 切り替え時は音量にご注意ください。




安全上のご注意

ここでは、本機をご使用になる上での安全に関する項目を記載してあります。あなたや他の人々へ与える危害や、財産などへの損害を未然に防止するため、ここに記載されている事項をお守りいただくものです。本機をご使用前には必ずお読みください。

 警告	この表示の欄に記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意	この表示の欄に記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。
--	---	--	---

絵表示について

本書、および製品の表示には、あなたや他の人々へ与える危害や財産の損害を未然に防ぎ、本機を安全にご使用いただくために、警告または注意を促す絵表示を使用しています。これらの絵表示の意味をよく理解してから本書をお読みください。

	△記号は注意しなければならない内容（警告も含まれます）を示しています。具体的な注意事項は△の中や近くに絵や文章で示しています（左図の例は「感電注意」を示しています）。
	⊘記号は禁止内容（してはいけないこと）を示しています。具体的な禁止事項は⊘の中や近くに絵や文章で示しています（左図の例は「分解禁止」を示しています）。
	●記号は強制内容（必ずすること）を示しています。具体的な強制事項は●の中や近くに絵や文章で示しています（左図の例は「電源プラグをコンセントから抜く」を示しています）。

警告

注意

<p>万一、煙りが出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p> <p> すぐに機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常がなくなったことを確認して販売店または当社営業窓口へ修理を依頼してください。お客様ご自身での修理は大変危険ですので、絶対にお止めください。</p>	<p> 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p> <p> 本機を布や布団などで覆ったりしないでください。熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p> <p> 本機の分解・修理・改造は絶対に行わないでください。また、本体カバーは絶対外さないでください。火災・感電の原因となります。</p>	<p> モーターや調光器など雑音を発生する機器や、消費電力の大きな機器とは、別のコンセントを使用してください。</p> <p> 本機に他のオーディオ機器を接続する場合、接続する機器の取扱説明書をよく読み、必ず電源スイッチを切って、説明に従って接続してください。また、接続は指定されたコードを使用してください。</p>
<p> 万一機器内部に水や異物が入った場合には、すぐに機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社営業窓口へ修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>	<p> 本機をお手入れする場合には、安全のため電源コードを外してください。感電の原因となることがあります。</p> <p> 本機を移動する場合には、必ず電源コードを抜いて、外部機器の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。</p>	<p> ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。</p> <p> ぐらついた台の上や、傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、怪我の原因となることがあります。</p>
<p> 電源コードが断線、芯線の露出など、コードが傷んだ場合には、販売店または当社営業窓口へ修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	<p> 電源を入れる前に、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。</p>	<p> 電源スイッチを入れたまま、電源プラグを抜き差ししないでください。故障の原因となることがあります。</p>
<p> 本機に直接水のかかる場所には置かないでください。火災・感電の原因となります。</p>	<p> パワーアンプなど大きなトランスを搭載した機器が近くにあると、ハムを誘導することがあります。このような場合は、機器同士の間隔や方向を変えて設置してください。</p>	<p> テレビやラジオの近くに置かないでください。画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出る原因となります。</p>
<p> 本機の上 1 m 以内や、横 30 cm 以内の場所に、ものを置かないでください。本機は動作中高温になるため、やけど・火災・感電の原因となります。</p>		
<p> 窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる所など、異常に温度の高い場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。</p>		
<p> 油煙や湯気の当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p>		

各部の名称

前面



① POWER スイッチ

電源を ON / OFF します。(⇒ 5 ページ)

点灯：動作準備完了

点滅：スタンバイ (主電源投入後約 10 秒間、電源 OFF 後約 10 秒間)

② ヘッドホン出力端子 (バランス)

バランス接続型のヘッドホンを接続します。

③ 出力端子切替スイッチ

スイッチを押すことで、ヘッドホン出力をバランス出力端子とアンバランス出力端子のどちらから出力するのかを切り替えます。

選択している側の LED が点灯します。

④ ヘッドホン出力端子 (アンバランス)

アンバランス接続型のヘッドホンを接続します。

⑤ インピーダンス/ゲイン切替つまみ

ヘッドホンのインピーダンスとゲインを調節します。左右に回してインピーダンス/ゲインを切り替えます。(⇒ 6 ページ)

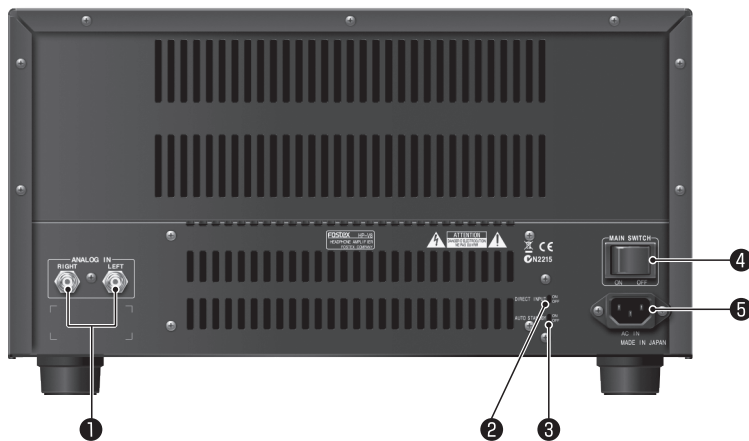
⑥ ディスプレイ

ステータスや音量を表示します。

⑦ ボリュームつまみ

ヘッドホンの音量を調節します。0 ~ 99 の間で設定できます。(⇒ 5 ページ) 表示は -dB になります。(「-」は MUTE となります)

背面



① [ANALOG IN] 端子 (RIGHT / LEFT)

入力ソースとして使う再生機器を、RCA ピンプラグケーブルで接続します。

② DIRECT INPUT 切替スイッチ

本機での音量調節を有効/無効にします。(⇒ 5 ページ)

③ AUTO STANDBY 切替スイッチ

オートスタンバイ機能の ON / OFF をします。(⇒ 6 ページ)

④ 主電源スイッチ

主電源を ON / OFF します。

⑤ [AC IN] 端子

付属の電源ケーブルを接続します。

音楽を再生する

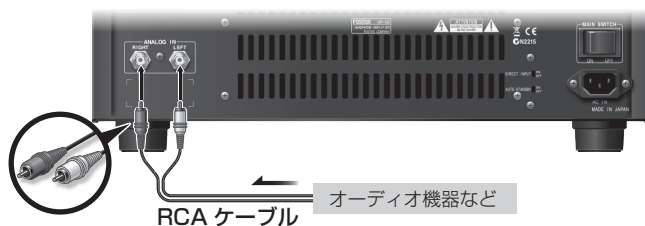
接続と再生

ご注意

- 機器を接続する前に、本機の電源を OFF にしてください。
- 接続が終了して電源を ON にするときは各機器の音量を最小にしてください。

1 再生機器と接続する

本機の背面のオーディオ入力端子に再生機器を接続します。



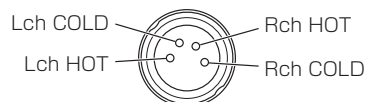
2 ヘッドホンと接続する

ヘッドホンの本機のヘッドホン出力端子に接続します。



ヘッドホン出力端子 (バランス) のピン配置 (本体側)

インピーダンスが 16 Ω ~ 600 Ω のヘッドホンをご使用ください。
本機の 4 ピンバランス出力端子は、右の図のように信号出力されます。



3 コンセントに接続する

付属の電源コードで [AC IN] 端子とコンセントを接続します。



4 本機の主電源を ON にする

背面の主電源スイッチを「ON」にします。
POWER スイッチが約 10 秒間点滅したあとに、点灯します。

5 本機の電源を ON にする

POWER スイッチを押し込みます。ディスプレイに真空管のウォームアップが終了するまでの待ち時間 (約 50 秒間) が表示されます。ウォームアップが終了すると POWER スイッチが消灯します。

6 再生機器を再生する

7 音量を調節する

ボリュームつまみを右方向に回すと音量が大きくなります。
ボリュームの設定値は前面の POWER スイッチを OFF にしても保持されますが、背面の主電源を OFF にすると MUTE にリセットされます。

背面の DIRECT INPUT 切替スイッチの機能

DIRECT INPUT 切り替え時は音量にご注意ください。

ON : 本機のボリュームつまみは動作しなくなりますので、再生機器で音量調節してください。ボリュームの内部設定は DIRECT INPUT 切替スイッチを ON にする直前の設定値になります。

OFF : ディスプレイに「-」と表示され、本機での音量調節ができます。

音楽を再生する (つづき)

|| インピーダンス／ゲインを調節する

ご使用のヘッドホンのインピーダンスに合わせて、インピーダンス／ゲイン切替つまみを調節してください。インピーダンスを低く設定するときは「LOW IMP」、高く設定するときは「HIGH IMP」に合わせ、ゲインを低く設定するときは「LOW GAIN」、高く設定するときは「HIGH GAIN」に合わせてください。インピーダンス／ゲインの調整は、ご使用になるヘッドホンの仕様に合わせて行ってください。

本機で対応するインピーダンス

LOW IMP : 16 ~ 600 Ω

HIGH IMP : 48 ~ 600 Ω

|| オートスタンバイ機能

ボリュームつまみ、インピーダンス／ゲイン切替つまみ、AUTO STANDBY 切替スイッチが 30 分間操作されなかった場合、数秒間「PO」点滅表示の後、自動的にスタンバイ状態になります。オートスタンバイ機能を OFF にするときは、AUTO STANDBY 切替スイッチを OFF にしてください。

オートスタンバイ機能が働いてスタンバイ状態になった後、再度電源を ON にする場合は、前面の POWER スイッチを入れ直してください。

主な仕様

使用真空管	KT88、E88CC、300B	
最大出力	2 000 mW (16 Ω時)	
適合負荷インピーダンス	LOW	16 - 600 Ω
	HIGH	48 - 600 Ω
周波数特性	20 Hz - 50 kHz (typ)	
S/N 比	115 dB	
THD + N 特性	0.5% 以下 (32 Ω, 1 V RMS)	
入力	RCA (L/R) アンバランス × 1	
出力	XLR (4 極) バランス × 1 Φ 6.3 mm ステレオフォーン アンバランス × 1	
電源	AC 100 V	
消費電力	198 W	
寸法	430 mm (幅) x 245 mm (高さ) x 416 mm (奥行き) (突起物を除く)	
本体質量	約 31 kg	

* 製品の仕様および外観などは、改良のため将来予告なく変更することがあります。

